

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		赤ちゃん・ふらっと整備事業費〔赤ちゃん・ふらっと整備事業〕										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	子育て支援費	事業番号	7	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	子育て支援				課	手当・助成			係	課長名	新海 隆弘	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進									総合計画書 (ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内公共施設及び市内で協力してくれる施設(店舗、事務所等)					市内公共施設の数及び協力してくれる施設(店舗、事務所等)の数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	小さなお子様を連れた方が、安心してお出かけできるよう、授乳やおむつ替え等ができるスペースを整備する。					赤ちゃんふらっとを整備した公共施設数						
指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①整備する施設の選定 ②施設の職員と調整 ③備品や消耗品の準備、購入 ④整備作業の立会、仕上げ、確認 ⑤東京都に「赤ちゃん・ふらっと」認定の申請					整備した施設に対する修繕費、備品購入費、消耗品購入費						
	①整備する施設の選定 ②施設の職員と調整 ③備品や消耗品の準備、購入 ④整備作業の立会、仕上げ、確認 ⑤東京都に「赤ちゃん・ふらっと」認定の申請					①整備する施設の選定 ②施設の職員と調整 ③備品や消耗品の準備、購入 ④整備作業の立会、仕上げ、確認 ⑤東京都に「赤ちゃん・ふらっと」認定の申請						
	①整備する施設の選定 ②施設の職員と調整 ③備品や消耗品の準備、購入 ④整備作業の立会、仕上げ、確認 ⑤東京都に「赤ちゃん・ふらっと」認定の申請					①整備する施設の選定 ②施設の職員と調整 ③備品や消耗品の準備、購入 ④整備作業の立会、仕上げ、確認 ⑤東京都に「赤ちゃん・ふらっと」認定の申請						
2			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	か所	71	71	71						
	成果指標	②の数値	か所	20	21	21						
	目 標	②の目標値		19	19	20		20		20		
		目標値設定の考え方										
年に1~2か所ずつ新規整備する。市内公共施設に設置後は、修繕、改修等のメンテナンスを行う。												
活動指標	③の数値	円	650,869	745,960	548,955							
3 経費	事業費(実績)		円	650,869	745,960	548,955		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	28,869	163,960	0						
		特定財源	円	622,000	582,000	548,955						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
事業費+人件費		円	1,475,269	1,576,960	1,386,955							
4 環境変化等	(1) 開始年度		H25 年度									
	(2) 環境の変化 公共施設等において、授乳及びおむつ替え等のための設備の設置を促進するとともに、都民に「赤ちゃん・ふらっと」の所在等を広く周知することにより、乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境を整備することを目的としている。 東京都では平成20年度から設置を促進してきたが、当市では平成25年度から市内の公共施設に必要な整備をしている。 令和2年度は、南街市民センターの赤ちゃん・ふらっとの建て替えと、だれでもトイレの施設改修を行った。											

事業名称	赤ちゃん・ふらっと整備事業費〔赤ちゃん・ふらっと整備事業〕					
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名	新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし					
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）					
	☒ 取り組んだ		取組手法： ③⑥⑦			
	☐ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 民間事業所が整備をしても都からの工事費等の補助はないが、保育園や商業施設など既に登録要件を満たしている事業所に対し、登録の協力依頼をする。					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 公共施設の整備は進んできたが、民間事業者の商業施設等における整備が進まない。また、類似の施設があっても、「赤ちゃん・ふらっと」の認定条件を満たさない場合がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 南街市民センターの赤ちゃん・ふらっとを建て替え、だれでもトイレの施設改修を行った。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市民や事業者に対する周知が不十分である。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 民間の商業施設等の整備を推進するため、商工会や保育園等への登録依頼を行う。					
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし					